グローバルサイエンスキャンパス令和２年度全国受講生研究発表会　**エントリーシート**

１. 機関名　　　　 　：神戸大学

２. 発表者氏名　　　 ：中田 大翔

担当教員（所属） ：中村 匡秀(神戸大学大学院システム情報学研究科中村研究室)

３-(1)研究テーマ名 ：コロナ時代の密を考慮した避難所ナビゲーションアプリの開発

３-(2)研究テーマの決め方について（複数選択可）　※該当する項目にチェックを入れてください。

発表者独自のアイディアによるテーマ　　　 他のメンバーと相談したテーマ

実施機関の先生と相談したテーマ　　　　　 実施機関の先生からの提案

高校等での研究活動と関連したテーマ　　　 その他（　　　　　　　　　）

３-(3)研究の進行状況　※該当する項目にチェックを入れてください。

着手したばかり　　 半ば　　 ７～８割程度　　 ほぼ完了している

４.発表する研究について

**① 先行研究として参考にした文献や研究テーマなど**

|  |
| --- |
| ・各都道府県のコロナ感染対策を盛り込んだ避難所運営マニュアル  ・コロナ対策としての避難所以外への避難の検討  ・避難所混雑回避のために避難受け入れ拒否された事例  ・宮崎県日南市によるアプリ『VACAN』の導入事例 |

**② 先行研究との違い（特にアピールしたい点）**

|  |
| --- |
| ・コロナ時代の密を考慮した避難を「住民の自助」によって達成できる  ・住民が，自宅周辺の各避難所の詳細な混雑状況をリアルタイムに確認できる  ・チェックイン機能によって，自治体職員が避難所の混雑状況を手入力する必要がなくなる  ・自治体職員が住民の安否確認もできるようになる  ・住民が，私的な避難所（安全な場所にある友人・知人宅等）の管理ができるようになる |

**③ 発表者の本研究への貢献度、分担について**（既存研究を引き継いだ場合、共同研究の場合、高校などでも研究活動を行っている場合には、各発表者が分担した範囲や役割を明確に記述してください。）

|  |
| --- |
| ・アプリケーションの発案，要件の整理，設計は本人が担当した  ・アプリケーションの実装については，発表者と神戸大学大学院 中村研究室の室谷敏生で分担している．具体的には，クライアントサイド（HTML5,JavaScript，BootStrap）を発表者本人が実装している．サーバーサイド（Java,SpringBoot，MySQL）は，室谷さんが担当して実装を進めている．  ・今後，アプリケーションのテストおよび検証実験は，発表者の友人や中村研究室のメンバーに協力を仰ぎ，実施する予定である． |

**④ 本研究に関する発表を行った学会、科学技術コンテンスト等** ※予定を含む

|  |
| --- |
| ・電子情報通信学会サービスコンピューティング研究会（2021年3月予定）  ・IEEE PerCom Workshop on Pervasive Information Flow (Perflow2021, 2021年3月予定) |

**⑤研究倫理について**　※該当する項目にチェックを入れてください。

ねつ造、改ざん、盗用などの研究不正は一切行っていない。独自データによるエビデンスの明示や、引用部分とオリジナル部分を明確に区分している。

動物実験、人を対象としてデータやサンプルを取得する研究、個人を特定できる情報を取得する研究等については、関係法令や指針等に基づき、適切な手続きを行っている。もしくは生命倫理等に抵触する研究ではない。

グローバルサイエンスキャンパス令和２年度全国受講生研究発表会　**エントリーシート**

１. 機関名　　　 　　： ※GSCを受講している機関をドロップダウンリストから選択してください

２. 発表者氏名　　　 ：科学　太郎、　技術　花子

担当教員（所属） ：理数　教子（川口大学　理学部）

３-(1)研究テーマ名 ：■■に関する研究

３-(2)研究テーマの決め方について（複数選択可）　※該当する項目にチェックを入れてください。

発表者独自のアイディアによるテーマ　　　 他のメンバーと相談したテーマ

実施機関の先生と相談したテーマ　　　　　 実施機関の先生からの提案

高校等での研究活動と関連したテーマ　　　 その他（　　　　　　　　　）

３-(3)研究の進行状況　※該当する項目にチェックを入れてください。

着手したばかり　　 半ば　　 ７～８割程度　　 ほぼ完了している

４.発表する研究について

**① 先行研究として参考にした文献や研究テーマなど**

|  |
| --- |
| 例）●●●に関する研究、□□□、△△△、2018  　 △△大学○○研究室のメインテーマである～～～に派生した研究 |

**② 先行研究との違い（特にアピールしたい点）**

|  |
| --- |
| 例）・先行研究では行われていなかった実験のパラメータを新たに設定し、データ収集を行った。  　 過去のデータと比較することで、新たな検証・考察を行った。  ・これまで困難とされていた○○の新たな測定方法の確立に取り組んだ。これにより■■  のメカニズムを定量的に分析することが可能となった。 |

**③ 発表者の本研究への貢献度、分担について**（既存研究を引き継いだ場合、共同研究の場合、高校などでも研究活動を行っている場合には、各発表者が分担した範囲や役割を明確に記述してください。）

|  |
| --- |
| 例）・仮説を検討し、計画の一部を立案した。対象サンプルのうち、▲▲の観察を担当した。  　　 ・○○の生態について既存研究を引き継いだ。新たに違う品種の●●も研究対象に加え、比較  検証した。（○○に関するデータは既存研究のデータを用いた。）  　　 ・科学　太郎がデータを取得し、技術　花子が解析と考察を担当した。 |

**④ 本研究に関する発表を行った学会、科学技術コンテンスト等** ※予定を含む

|  |
| --- |
| 例）日本学生科学賞（2019年度）  　　　日本○○学会ポスターセッション（2020年12月予定） |

**⑤研究倫理について** ※該当する項目にチェックを入れてください。

ねつ造、改ざん、盗用などの研究不正は一切行っていない。独自データによるエビデンスの明示や、引用部分とオリジナル部分を明確に区分している。

動物実験、人を対象としてデータやサンプルを取得する研究、個人を特定できる情報を取得する研究等については、関係法令や指針等に基づき、適切な手続きを行っている。もしくは生命倫理等に抵触する研究ではない。